

平成29年度 文部科学省委託
「幼児教育の推進体制構築事業」

地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの 設置及び「幼児教育アドバイザー」の 育成・配置に関する調査研究(2年次)

実施報告書



平成30年3月

広島市教育委員会

目次

■ 地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置及び「幼児教育アドバイザー」の育成・配置に関する調査研究（2年次）

趣 旨	1
目 的	2
内 容	4
成 果	21
課 題	28

< 資料 >

◇ 資料 1	市立幼稚園 拠点園の役割と機能	30
◇ 資料 2	本市の幼児教育（幼稚園・保育園・認定こども園等）の現状・課題と今後の方向性	31
◇ 資料 3	幼児教育の推進体制構築事業にかかる体制イメージ図	32
◇ 資料 4	幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会開催要綱	33
◇ 資料 5	幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会議事要旨	34
◇ 資料 6	広島市幼児教育支援協議会設置要綱	40
◇ 資料 7	研修に関する連絡協議会開催要綱	42
◇ 資料 8	研修に関する連絡協議会開催概要	43
◇ 資料 9	平成 29 年度広島市幼稚園教諭・保育士・保育教諭新規採用者合同研修会報告	46
◇ 資料 10	幼児教育アドバイザー設置要綱	48
◇ 資料 11	幼児教育アドバイザー実施要領	49
◇ 資料 12	幼児教育アドバイザー訪問依頼書	50
◇ 資料 13	幼児教育アドバイザー訪問実施報告書	51
◇ 資料 14	平成 29 年度幼児教育アドバイザー一覧	52
◇ 資料 15	平成 29 年度幼児教育アドバイザー派遣案内	53
◇ 資料 16	幼児教育アドバイザー訪問実施報告書（抜粋）	54
◇ 資料 17	平成 29 年度広島市幼児教育シンポジウム関連資料	56
◇ 資料 18	広島市における「幼児教育・保育推進体制」について（たたき台）	76
◇ 資料 19	平成 29 年度 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図	77
◇ 参考資料	幼児教育の推進体制構築事業委託要項 他	78

〔参考資料：出典 文部科学省〕

趣 旨

本市では、「世界に誇れる『まち』の実現に向けて」（平成 23 年 12 月策定）に基づき、誰もが安心して子どもを生み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」にするため、特に幼児期の教育・保育施設等においては更なる子育て支援及びより質の高い幼児教育を実践し、全ての幼児に「豊かな感性」「他人を思いやる心」の育成を目指すこととしている。

こうしたことから、平成 28 年 6 月、文部科学省から「幼児教育の推進体制構築事業」の委託を受け、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携や相互理解を図りながら、本市の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指し、施策展開を図ることとした。平成 28 年 9 月には、「幼児教育支援協議会」を設置し、本市の幼児教育の中核的な役割を担える広島市ならではの「幼児教育センター」のあり方について検討するとともに、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校等の一体的な研修の推進や各園の実情に応じた支援を行う「幼児教育アドバイザー」を育成・配置することにより、幼児教育推進体制の構築の更なる充実を図ることとした。

調査研究 1 年目となる平成 28 年度の主な成果としては、関係部局や私立幼稚園、私立保育園の関係団体等との活発な協議等により、本市に必要な「幼児教育センター」の役割や機能について共通理解が深まるとともに、「幼児教育アドバイザー」の姿や役割が明確化され、公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園等においても広く認知された。

調査研究 2 年目となる平成 29 年度は、平成 28 年度を取組を踏まえ、特に「幼児教育アドバイザーの活用」「教諭・保育士等の研修」「幼保小の接続」の観点から必要と思われる「幼児教育センター機能」を明らかにするとともに、「幼児教育アドバイザー」をより効果的に各園に派遣するためのコーディネート機能の充実を図り、各園からの訪問要請内容等に応えられるよう、全ての幼児教育アドバイザーのスキルアップを図るための研修等のあり方についても検討を進めてきた。

これまでの調査研究の成果と課題を踏まえ、調査研究 3 年目（最終年）となる平成 30 年度には、本市の実情に即した幼児教育センターの設置に向けた具体的な方向性を示すとともに「幼児教育アドバイザー」のより一層の活用を進め、あわせて、今後、市立幼稚園が担うべき役割についても研究し、本市の幼児教育の推進体制構築の充実を図る予定である。

目的

広島市では平成13年に、子どもたちを「心身ともにたくましく、思いやりのある人」として育成することを教育の基本理念とする「21世紀教育改革推進総合プラン」を策定し、「新しい教育の推進」に取り組んできた。そして幼児期については、生涯にわたる人間形成が培われる極めて重要な時期であることから、「豊かな感性」と「他人を思いやる心」の育成を基本的な考え方に掲げ、幼児教育を推進してきた。

こうした中、「広島らしい就学前教育・保育のあり方」の確立に向けて、平成16年9月に、有識者、幼稚園関係者、保育園関係者などを構成員とする「幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会」を設置して、「幼稚園と保育園の連携のあり方」や「小学校教育への円滑な移行のための就学前教育の充実」について検討を始め、平成17年3月には、同検討委員会から、

- 幼稚園と保育園の新たな関係
- 今後の市立幼稚園のあり方
- 就学前教育・保育の充実

の三つの視点で、具体的な取組や方策等の提言を受けた。

この提言に基づき、平成20年1月に「幼稚園と保育園の連携による就学前教育・保育推進計画」を策定し、

- 就学前教育・保育プログラムの策定・普及
- 幼稚園、保育園と小学校との連携の推進
- 家庭、地域社会に対する子育て支援機能の充実

など、幼児教育の充実のための取組を進めてきた。

【これまでの取組】

- 平成7年度 「幼児のひろば推進事業」（各園での就学前の親子に遊び場や機会を提供）
- 平成14年度 「広島市幼稚園教育懇話会」の開催
（公立幼稚園長会と私立幼稚園協会との合同会議）
- 平成15年度 「就学前教育と小学校の連携に関する総合的調査研究」実施（～平成16年度）
- 平成16年度 「幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会」設置
「公立の幼稚園と保育園における人事交流」、「保育士体験研修」を開始
- 平成17年度 「幼保小連携推進委員会」の設置（平成19年度～全小学校区設置）
「合同研修会」「園へ行こう週間」の実施
- 平成19年度 「幼稚園と保育園の連携による就学前教育・保育推進計画」の策定
「広島市就学前教育・保育プログラム」の策定
- 平成21年度 「広島市立幼稚園のあり方に関する検討のまとめ」策定
- 平成22年度 「広島市立幼稚園の今後の方向性」策定

また、平成 24 年度からは公立幼稚園の 6 園を「幼児教育に関する先駆的な調査研究等の拠点となる幼稚園」（以下「拠点園」という。）に位置づけ、今日的課題に対応した次の 6 つのテーマに基づき研究実践を行い、普及に努めている。

- 「幼児教育の情報発信」
- 「幼保小連携推進」
- 「特別支援教育の推進」
- 「三者（地域、家庭、幼稚園）の連携」
- 「親育ち支援」
- 「教員の資質向上」

さらに、子どもの発達や学びは、幼稚園、保育園、認定こども園等の就園前における家庭や地域社会での生活を通じた発達から、幼稚園、保育園等での教育・保育を通じた学び、さらには小学校以上の学習へと円滑につながっていくことが必要であり、そのためには、幼児期を中心としながら、就学前教育・保育の全体を視野に入れた施策展開が必要となる。また、保護者ニーズの多様化、子どものコミュニケーション能力の低下と基本的な生活習慣の欠如、家庭や地域社会の教育力の低下といった課題への対応や、特別支援教育及び小学校との円滑な接続に対するきめ細かな支援が求められている。

「幼児教育の推進体制構築事業」では、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携や相互理解を図りながら、本市の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指して、施策展開を図ることとしている。このため「幼児教育支援協議会」を設置し、本市の幼児教育の中核的な役割を担える広島市ならではの「幼児教育センター」の在り方について検討するとともに、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校等の一体的な研修の推進や各園の実情に応じた支援を行う「幼児教育アドバイザー」を育成・配置することにより、幼児教育推進体制の構築の更なる充実に図ることとした。

-
- ◇ 資料 1 市立幼稚園 拠点園の役割と機能 p. 30
 - ◇ 資料 2 本市の幼児教育（幼稚園・保育園・認定こども園等）の現状・課題と今後の方向性 p. 31
 - ◇ 資料 3 幼児教育の推進体制構築事業にかかる体制イメージ図 p. 32

内容

(1) 「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」の運営

幼児教育の推進体制構築事業の円滑な推進に当たり、専門的見地から幅広く意見を聴取するため、昨年度に引き続き、学識経験者、教育関係者、関係団体代表者、行政関係者で構成する「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」を開催し、

- 1年次の成果と課題を踏まえた研究推進体制や研究計画
- 広島らしい幼児教育センター役割や機能
- 幼児教育アドバイザーの活用 等

について、広く意見を聴取するとともに、2年間の取組についての評価を受けた。

【構成員】（◎ 座長）

名 前	役 職 等
◎朝倉 淳	広島大学大学院 教育学研究科 教授
徳永 隆治	安田女子大学 教育学部 児童教育学科 教授
渡邊 英則	認定こども園 ゆうゆうのもり幼保園 園長
松尾 竜	広島市私立保育園協会 理事長（第二みみょう保育園長）
米川 晃	広島市私立幼稚園協会 理事長（青葉幼稚園長）
大田 恵里子	広島市保育園長会 代表（鈴峰園保育園長）
金子 忍	広島市立幼稚園長会 会長（長束幼稚園長）
福原 剛	広島市小学校長会 代表（長束小学校長）
細谷 昌弘	こども未来局 保育企画課長
佐々木 智恵子	こども未来局 保育指導課 保育園運営指導担当課長
長谷 富美	教育委員会事務局 総務部 教育企画課長
松浦 幸雄	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課長
児玉 安司	教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課長
長谷川 洋	教育センター次長

【開催状況】

- ・ 第1回 平成29年 9月 4日（月）10:30 ～ 12:00
- ・ 第2回 平成29年12月27日（月）10:00 ～ 11:30
- ・ 第3回 平成30年 3月22日（木）10:30 ～ 12:00

◇ 資料4 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会開催要綱 p. 33

◇ 資料5 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会議事要旨 p. 34～p. 39

【幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会】



【座長 朝倉教授】



(2) 「幼児教育支援協議会」の運営

教育委員会事務局とこども未来局との連携・協働により事業を推進した。昨年度の課題を踏まえ、今年度は、ワーキング会議内の主管課担当者間での連携（報告・連絡・相談）を強化し、各取組を推進するとともに、1年次に引き続き、

- 本市に必要な幼児教育センター機能と役割について
- 幼稚園教員・保育士・保育教諭の資質・能力の向上に向けた体系的な研修について
- 幼児教育アドバイザーの派遣の効率化・充実化について

の調査研究を行った。

【構成員】（◎は委員長 ○は副委員長）

名 前	役 職 等
○細谷 昌弘	こども未来局 保育企画課長
佐々木 智恵子	こども未来局 保育指導課 保育園運営指導担当課長
◎長谷 富美	教育委員会事務局 総務部 教育企画課長
○松浦 幸雄	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課長
児玉 安司	教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課長
山崎 哲男	教育委員会事務局 学校教育部 生徒指導課長
長谷川 洋	教育センター次長

【構成員】（◎ 座長）

名 前	役 職 等
小田 憲吾	こども未来局 保育企画課 課長補佐
安藤 康子	こども未来局 保育指導課 主幹
◎舟津 有紀	教育委員会事務局 総務部 教育企画課 課長補佐
寺川 勇一	教育委員会事務局 総務部 教育企画課 主幹
岡崎 貴弘	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 課長補佐
竹内 美貴	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 主任指導主事
横山 善規	教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課 課長補佐
星野 和敏	教育委員会事務局 学校教育部 生徒指導課 課長補佐
宅見 雄二	教育センター 主任指導主事

◇ 資料6 広島市幼児教育支援協議会設置要綱 p. 40, 41

① 幼児教育センター機能と役割についての検討

- 現在、設置に向けた検討や幼児教育・保育の充実に向けた取組が進んでいる自治体等を視察訪問し、各自治体の検討状況等について情報収集を行った。

【視察地】

東京都目黒区教育委員会学校運営課	平成 29 年 11 月 9 日 (木)
東京都世田谷区教育委員会幼児教育・保育推進担当課	平成 29 年 11 月 9 日 (木)
名古屋学芸大学 子どもケアセンター	平成 30 年 1 月 25 日 (木)
名古屋市教育委員会総務部学校環境計画室	平成 30 年 1 月 26 日 (金)
神戸市教育委員会総務部学校環境整備課	平成 30 年 1 月 26 日 (金)

- 平成 29 年度「幼児教育の推進体制構築事業意見交換会」グループ意見交換会において、既に幼児教育センターを設置している自治体から設置状況等について情報を収集した。

② 幼稚園教員・保育士・保育教諭の資質・能力の向上に向けた体系的な研修策定に向けた検討

「研修に関する連絡協議会」を開催し、本市における幼稚園教諭、保育士等の研修について関係団体代表者や学識経験者から意見聴取を行い、関係団体との連携のもと、新規採用者（教諭、保育士、保育教諭）の合同研修を実施した。

また、幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修会を実施した。

【構成員】

名 前	役 職 等
山崎 晃	広島文化学園大学学芸学部 学部長 教授
伊藤 唯道	広島市私立保育園協会 副理事長 (順正寺保育園長)
清川 里佳	広島市私立幼稚園協会 副理事長 (ひろみ幼稚園長)
栗栖 直子	広島市保育園長会 会長 (わかくさ保育園長)
井筒 敦子	広島市立幼稚園長会 代表 (矢賀幼稚園長)
小田 憲吾	こども未来局 保育企画課 課長補佐
安藤 康子	こども未来局 保育指導課 主幹
舟津 有紀	教育委員会事務局 総務部 教育企画課 課長補佐
寺川 勇一	教育委員会事務局 総務部 教育企画課 主幹
岡崎 貴弘	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 課長補佐
竹内 美貴	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 主任指導主事
横山 善規	教育委員会事務局 学校教育部 特別支援教育課 課長補佐
末本 学	教育委員会事務局 学校教育部 生徒指導課 指導主事
宅見 雄二	教育センター 主任指導主事

◇ 資料 7 研修に関する連絡協議会開催要綱 p. 42

◇ 資料 8 研修に関する連絡協議会開催概要 p. 43～p. 45

【開催状況】

- 第1回 平成29年 9月 7日(木) 10:30 ~ 12:00
 (平成28年度「研修に関する連絡協議会」について
 平成29年度幼児教育アドバイザーの派遣状況について
 平成29年度の幼稚園教諭、保育士等の研修について)
- 第2回 平成30年 1月 11日(木) 10:30 ~ 12:00
 (平成29年度広島市幼稚園教諭・保育士等新規採用者合同研修会について
 平成29年度幼児教育アドバイザーの派遣について
 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図)
- 第3回 平成30年 3月 8日(木) 15:00 ~ 16:30
 (平成29年度第2回広島市幼稚園教諭・保育士等新規採用者合同研修会について
 平成29年度幼児教育アドバイザーの活用について
 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図
 次年度に向けて)

ア 平成29年度広島市幼稚園教諭・保育士・保育教諭新規採用者合同研修会の開催

- 広島市教育委員会、広島市こども未来局、広島市私立保育園協会、広島市私立幼稚園協会が共同で、幼児教育・保育に携わる新規採用者が一堂に会して研修を行うことを通して、本市の教育や保育に係る理解を深めることにより、本市全体の幼児期の教育・保育の質の向上を図った。
- 講話や実践事例の紹介に加え、グループワークを取り入れ、参加者の相互交流を図った。

【開催状況】

- 第1回 平成29年 11月 7日(火) 13:50 ~ 16:45
 (講演) : 渡邊 英則 氏 (認定こども園ゆうゆうのもり幼保園長)
 「幼児期に遊びを通して育てたい力とは」
 ~幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を中心に~
 (グループワーク) : 「保育実践を振り返って」
 (参加人数)

公立幼	私立幼	公立保	私立保	合計
7人	32人	69人	49人	157人



【講演】



【グループワーク】

- 第2回 平成30年 2月 27日(火) 13:50 ～ 16:45
 (実践発表) : 広島市立中筋幼稚園 教諭 岡原 由佳
 「遊びを中心とした環境構成の工夫について」
 広島市五日市南保育園 保育士 笠崎 由美子
 「私が保育士として大切にしていること」
 (グループワーク) : 「保育実践を振り返って」

(参加人数)

公立幼	私立幼	公立保	私立保	合計
8人	19人	63人	40人	130人



【教具を用いたグループワーク】



【写真を用いたグループワーク】

イ 幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修についての検討・策定

- 各小学校区の幼保小の教職員が連携し、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の滑らかな接続に係る研修を深めることにより、幼児児童に基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力などの確かな学力の育成を図る豊かで深い学びへとつなげるとともに、本市の教育・保育の一層の充実を図ることを目的に、「幼保小連携講演会」を開催した。

【開催状況】

- 第1回 平成29年 8月 10日(木) 14:00 ～ 16:40
 (実践発表) : 和泉 一恵 教諭 (広島市立落合東幼稚園)
 幸田 綾 教諭 (広島市立落合東小学校)
 「幼保小連携の取組」
 (講演) : 朝倉 淳 教授 (広島大学大学院教育学研究科)
 「接続カリキュラム作成のポイント」
- 第2回 平成30年 2月 5日(月) 14:00 ～ 16:40
 (実践発表) : 森本 伸章 教諭 (広島市立基町小学校)
 直井 瑞枝 教諭 (広島市立川内小学校)
 「幼保小連携に向けての取組」
 (講演) : 上之園 公子 教授 (比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科)
 「幼保小の学びのつながり」

③ 幼児教育アドバイザーの派遣の効率化・充実化について

ア 幼児教育アドバイザーの委嘱、要請に基づく派遣

- 幼児教育アドバイザーを 20 名委嘱した。20 名は、幼児教育の知識と経験が豊富な大学教授や幼稚園、保育園の元園長、教育委員会の元指導主事等であり、各園のニーズに応じて派遣できる体制を整えた。昨年度は 15 名の委嘱であったが、実践的な教育・保育、保護者支援等が求められる傾向にあったことから、幼稚園長、保育園長経験者を中心に、5 名人員を増やした。
- 園が希望する訪問テーマと幼児教育アドバイザーの専門分野を考慮し、効果的な研修となるよう事務局職員がコーディネートし、幼児教育アドバイザーの派遣を行った。



【園内研修での助言】



【研究会での助言】



【実技研修の講師】



【組織マネジメント等についての助言】

-
- ◇ 資料 10 幼児教育アドバイザー設置要綱 p. 48
 - ◇ 資料 11 幼児教育アドバイザー実施要領 p. 49
 - ◇ 資料 12 幼児教育アドバイザー訪問依頼書 p. 50
 - ◇ 資料 13 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書 p. 51
 - ◇ 資料 14 平成 29 年度 幼児教育アドバイザー一覧 p. 52
 - ◇ 資料 15 平成 29 年度 幼児教育アドバイザー派遣案内 p. 53
 - ◇ 資料 16 幼児教育アドバイザー訪問実施報告書 (抜粋) p. 54, 55

【派遣状況】

回	実施日	公私	訪問先	訪問テーマ等	内容	対象・人数
1	平成29年4月18日 9:30～12:00	公立	八幡保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員12人 園児95人
2	平成29年4月21日 9:30～11:30	公立	安東幼	保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員25人 園児 0人
3	平成29年4月24日 9:15～11:45	公立	緑井幼	幼児教育・保育の研修	研修	職員20人 園児75人
4	平成29年5月9日 14:30～16:30	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 幼保小連携	研修	職員5人
5	平成29年5月10日 9:30～16:00	私立	ほうりん こころ幼	特別支援教育 子育て支援	研修	職員14人 園児270人
6	平成29年5月12日 9:30～11:30	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員5人 園児26人
7	平成29年5月16日 10:00～14:30	私立	ほうりん 東野幼	幼保小連携	研修	職員35人 園児170人
8	平成29年5月19日 15:30～17:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員5人
9	平成29年5月20日 9:00～12:00	公立	緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 特別支援教育 保護者支援 発達や学びの連続性	研修	職員7人 園児59人 保護者58人
10	平成29年5月22日 13:00～16:00	公立	安西幼	特別支援教育	研修	職員6人
11	平成29年5月23日 15:30～17:00	公立	山本幼	保育者の資質向上	研修	職員6人 その他15人
12	平成29年5月26日 18:30～20:30	公立	大町保	保育者の資質向上	研修	職員42人
13	平成29年5月26日 17:00～20:00	公立	久地保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員12人 園児42人
14	平成29年5月26日 9:30～12:30	公立	中野保	保護者支援	講演	職員3人 保護者35人
15	平成29年5月29日 14:30～17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
16	平成29年5月29日 13:00～16:00	公立	瀬野幼	特別支援教育	研修	職員6人
17	平成29年5月30日 18:30～20:30	公立	千同保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員15人
18	平成29年5月30日 9:30～11:30	公立	いずみ保	保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員10人 園児53人
19	平成29年6月1日 15:00～16:30	公立	矢賀幼	幼児教育・保育の研修	研修	職員6人
20	平成29年6月6日 18:00～20:00	公立	落合保	教育・保育の内容・支援方法 その他(わらべうた)	研修	職員40人
21	平成29年6月9日 14:30～17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
22	平成29年6月12日 10:00～15:00	公立	ふくしま保	特別支援教育 発達や学びの連続性	研修	職員20人 園児3人 保護者3人
23	平成29年6月13日 9:30～12:30	公立	船越幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	相談	職員7人 園児35人 その他10人
24	平成29年6月14日 18:00～20:00	公立	大林保	保育者の資質向上	研修	職員15人

25	平成29年6月19日 9:15～11:45	公立	亀山南保	保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員16人 その他75人
26	平成29年6月20日 14:00～16:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 その他2名
27	平成29年6月21日 14:15～15:45	公立	温品幼	教育・保育の内容・支援方法 その他(人権教育)	研修	職員5人
28	平成29年6月21日 9:30～10:30	公立	矢賀幼	保護者支援 その他(幼児のひろば)	相談	職員6人 その他15人
29	平成29年6月23日 10:00～14:00	私立	吉島幼	特別支援教育	研修	職員18人 園児258人
30	平成29年6月28日 18:30～20:30	公立	久地保	保育者の資質向上	研修	職員12人
31	平成29年6月28日 12:30～16:00	公立	山本幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員5人 園児35人
32	平成29年6月28日 9:30～11:30	公立	長東幼	保護者支援	相談	保護者20人
33	平成29年6月29日 9:00～12:00	公立	基町幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	相談	職員6人 園児58人 保護者20人 その他25人
34	平成29年6月29日 14:00～16:00	私立	認定こども園 光明学園	その他(園運営について)	研修	職員3人
35	平成29年6月30日 10:00～14:00	公立	わかくさ保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員10人 園児9人
36	平成29年7月3日 11:00～15:00	公立	大町保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員10人 園児5人
37	平成29年7月8日 10:30～12:30	私立	広島 光明学園	保護者支援	講演	保護者200人
38	平成29年7月10日 15:00～16:30	公立	矢賀幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
39	平成29年7月11日 14:00～16:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人
40	平成29年7月12日 14:30～16:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員5人
41	平成29年7月14日 9:30～11:00	公立	川内幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	相談	職員2人 その他40名
42	平成29年7月15日 10:00～11:00	公立	戸坂保	保護者支援	相談	職員1人 その他30人
43	平成29年7月21日 10:00～12:00	公立	三篠保	保護者支援	相談	職員20人 園児76人 保護者30人 その他30人
44	平成29年7月21日 9:30～15:00	私立	ひろみ幼	特別支援教育	研修	職員11人 園児214人
45	平成29年7月24日 14:30～16:30	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員4人
46	平成29年7月25日 10:00～11:30	公立	五日市駅前 保	保護者支援	相談 講演	職員20人 園児60人 保護者15人 その他15人

47	平成29年7月25日 10:00～11:30	公立	真亀保	保護者支援	相談 講演	職員15人 園児55人 保護者10人 その他10人
48	平成29年7月25日 10:30～20:00	公立	吉島保	特別支援教育	講演	職員50人 園児237人
49	平成29年8月1日 14:00～17:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員60人
50	平成29年8月1日 9:30～11:30	公立	瀬野幼	保護者支援	相談	職員5人 保護者30人
51	平成29年8月3日 10:00～11:00	公立	中山保	保護者支援	相談	職員25人 保護者2人 その他8人
52	平成29年8月4日 9:00～14:00	公立	緑井幼	教育・保育の内容・支援方法	研修 相談	職員6人
53	平成29年8月18日 18:30～19:30	公立	落合保	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員38人
54	平成29年8月18日 14:00～16:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 その他21人
55	平成29年8月25日 13:00～15:00	私立	あさひ幼	特別支援教育	講演	職員27人
56	平成29年8月25日 10:00～20:30	公立	東浄保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員50人
57	平成29年8月28日 9:00～12:30	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員4人
58	平成29年8月29日 18:30～20:30	公立	長東保	保育者の資質向上 保護者支援	研修	職員20人
59	平成29年9月1日 13:30～15:30	公立	上緑井幼	幼保小連携	研修	職員5人 その他12人
60	平成29年9月5日 17:15～20:15	公立	ふくしま保	保育者の資質向上 特別支援教育 発達や学びの連続性	研修	職員24人 園児4人
61	平成29年9月6日 9:30～11:30	公立	上緑井幼	保育者の資質向上 保護者支援	相談 研修	職員6人 保護者30人 その他30人
62	平成29年9月7日 9:30～11:30	公立	石内保	発達や学びの連続性	研修	職員23人 園児15人
63	平成29年9月12日 10:00～17:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人
64	平成29年9月12日 10:00～11:30	公立	安西幼	保護者支援	相談 講演	保護者20人
65	平成29年9月13日 10:30～15:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員6人 その他23人
66	平成29年9月14日 9:00～12:00	公立	緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 保護者支援 発達や学びの連続性	研修 相談	職員8人 園児60人 保護者30人 その他27人
67	平成29年9月15日 18:00～20:00	公立	石内保	発達や学びの連続性	研修	職員23人 園児15人
68	平成29年9月15日 14:00～17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員6人

69	平成29年9月15日 13:00~16:00	公立	瀬野幼	保育者の資質向上	研修	職員6人 園児18人
70	平成29年9月20日 10:00~11:30	公立	川内保	保護者支援	相談	職員27人 園児148人 保護者10人 その他10人
71	平成29年9月22日 15:00~16:30	公立	矢賀幼	保育者の資質向上	研修	職員5人
72	平成29年9月25日 15:00~16:00	公立	川内小学校	幼保小連携 発達や学びの連続性	研修	保護者20人
73	平成29年9月26日 10:00~12:00	私立	あさひ幼	保護者支援	講演	保護者60人
74	平成29年9月29日 10:00~11:00	公立	竹屋保	保護者支援	相談	職員20人 園児110人 保護者10人 その他10人
75	平成29年10月2日 10:00~20:00	公立	わかくさ保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員30人 園児9人
76	平成29年10月5日 10:00~11:00	公立	温品保	保護者支援	相談 講演	保護者10人
77	平成29年10月12日 9:30~14:30	私立	可部保育所	特別支援教育	研修	職員27人 園児1人
78	平成29年10月13日 18:30~20:30	公立	大町保	保育者の資質向上	研修	職員42人
79	平成29年10月16日 10:00~15:30	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 園児25人 その他3人
80	平成29年10月17日 18:15~20:15	私立	きらら保	保育者の資質向上	研修	職員15人
81	平成29年10月17日 9:00~11:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員7人 園児61人
82	平成29年10月19日 10:00~11:00	公立	本川保	保護者支援	研修 相談	職員6人 園児10人 保護者10人
83	平成29年10月20日 9:30~15:00	私立	こうわ 認定こども園	特別支援教育	研修	職員5人 園児3人
84	平成29年10月20日 18:30~20:30	公立	仁保新町保	保育者の資質向上	研修	職員20人
85	平成29年10月20日 13:30~16:00	公立	緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 発達や学びの連続性 その他(幼保小中連携)	研修	職員70人 園児68人 その他1130人
86	平成29年10月24日 13:00~16:00	公立	上緑井幼	保育者の資質向上 特別支援教育	研修	職員5人
87	平成29年10月27日 10:00~15:30	公立	基町幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員7人 園児61人
88	平成29年10月27日 13:00~14:30	公立	仁保新町保	保育者の資質向上 組織マネジメント	研修	職員3人
89	平成29年10月30日 9:30~11:30	公立	いずみ保	保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員10人 園児53人
90	平成29年10月30日 9:30~11:30	公立	矢野幼	特別支援教育	研修	職員5人 園児57人 その他1人

91	平成29年11月1日 9:30~11:30	公立	中筋幼	保護者支援	相談	保護者50人 その他60人
92	平成29年11月6日 11:30~14:30	公立	吉島保	特別支援教育	研修	職員30人 園児237人
93	平成29年11月6日 9:30~11:30	公立	船越幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	相談 研修	職員7人 保護者35人 その他6人
94	平成29年11月7日 10:00~12:00	私立	広沢学園 祇園幼	教育・保育の内容・支援方法 幼保小連携	研修	職員1人
95	平成29年11月7日 9:30~12:00	公立	安西幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	講演	職員6人 保護者48人
96	平成29年11月9日 15:20~16:50	公立	温品幼	幼児教育・保育の研修	講演	職員6人 その他60人
97	平成29年11月11日 9:30~12:00	公立	八木幼	保育者の資質向上 保護者支援	相談 研修	職員17人 その他200人
98	平成29年11月13日 11:00~13:00	公立	安西幼	保護者支援	講演	保護者15人
99	平成29年11月14日 14:30~16:30	公立	矢賀幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
100	平成29年11月14日 13:00~17:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 園児25人
101	平成29年11月14日 11:00~16:00	公立	福木幼	保育者の資質向上 教育・保育の研修	研修	職員7人 園児44人
102	平成29年11月16日 9:30~11:30	公立	落合保	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員35人 園児24人
103	平成29年11月17日 10:00~15:00	公立	八幡東保	保育者の資質向上	研修	職員21人 園児99人
104	平成29年11月20日 9:30~11:30	公立	長東保	幼児教育・保育の研修	研修	職員17人 園児74人
105	平成29年11月20日 9:00~12:00	公立	落合幼	特別支援教育	研修 相談	職員3人 園児1人
106	平成29年11月20日 10:00~16:00	私立	ひろみ幼	特別支援教育	研修	職員15人 園児220人
107	平成29年11月22日 14:00~17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員6人 園児61人
108	平成29年11月22日 14:30~17:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員6人
109	平成29年11月24日 13:00~17:00	私立	認定こども園 二葉学園	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援 発達や学びの連続性	研修	職員21人 園児17人
110	平成29年11月27日 10:00~15:00	私立	洋光幼	特別支援教育	研修	職員6人 園児12人
111	平成29年11月29日 9:00~12:00	公立	安幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員2人 園児22人
112	平成29年12月1日 10:00~12:00	私立	ちどり幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 組織マネジメント その他(要領の改訂について)	研修	職員11人 園児131人 保護者131人
113	平成29年12月6日 13:30~15:30	私立	こどな保	組織マネジメント	研修	職員1人
114	平成29年12月6日 9:30~11:30	公立	中筋幼	保護者支援	相談 講演	保護者50人 その他60人

115	平成29年12月7日 9:30～12:30	公立	大町保	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員15人 その他10人
116	平成29年12月11日 10:00～14:00	私立	親和幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 特別支援教育	研修	職員13人 園児169人
117	平成29年12月14日 14:00～17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上 その他(保護者との連携)	研修	職員15人
118	平成29年12月15日 14:00～17:00	公立	落合東幼	組織マネジメント その他(エピソード記録まとめ)	研修	職員1人 その他2人
119	平成29年12月15日 10:00～12:00	公立	祇園保	保護者支援	相談 研修	その他20人
120	平成29年12月18日 13:00～17:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 園児26人 その他3人
121	平成29年12月22日 14:00～16:00	私立	こうわ認定 こども園	保育者の資質向上 保護者支援	研修	職員5人
122	平成30年1月9日 9:30～11:30	公立	上安保	保育者の資質向上	研修	職員25人 園児154人
123	平成30年1月9日 14:00～17:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 園児26人 その他3人
124	平成30年1月9日 13:00～15:00	公立	三篠保	組織マネジメント	研修	職員1人
125	平成30年1月10日 13:00～16:00	公立	福木幼	幼児教育・保育の研修 組織マネジメント	研修	職員6人 園児43人
126	平成30年1月11日 9:15～11:45	公立	亀山南保	保育者の資質向上 幼児教育・保育の研修	研修	職員16人 園児81人
127	平成30年1月11日 10:30～12:30	公立	瀬野幼	保護者支援	講演 相談	保護者20人
128	平成30年1月11日 9:00～12:00	公立	上緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 保護者支援	相談 研修	職員2人 保護者7人 その他9人
129	平成30年1月15日 10:00～12:00	公立	長東保	幼児教育・保育の研修	研修	職員17人 園児101人
130	平成30年1月15日 13:00～15:00	公立	川内保	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	研修	職員3人
131	平成30年1月16日 9:00～11:30	私立	くすの木保	保護者支援	研修	職員2人 園児1人 保護者1人
132	平成30年1月17日 9:00～12:00	公立	仁保新町保	保護者支援	講演 相談	職員5人 保護者80人
133	平成30年1月17日 9:30～12:30	私立	青葉幼	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員4人 園児120人
134	平成30年1月19日 10:00～12:00	公立	矢野幼	特別支援教育	研修	職員5人 園児57人 その他1人
135	平成30年1月22日 13:00～15:00	公立	上緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 特別支援教育	研修	職員5人
136	平成30年1月22日 14:00～17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
137	平成30年1月22日 9:30～11:30	私立	SunSun保	教育・保育の内容・支援方法 組織マネジメント	研修	職員3人
138	平成30年1月23日 10:00～12:00	公立	五日市 中央北保	保護者支援 幼保小連携	研修	職員4人 保護者30人

139	平成30年1月23日 10:00~11:30	公立	山本幼	その他	研修	職員1人
140	平成30年1月24日 10:30~13:30	公立	中筋幼	保護者支援	相談 講演	保護者30人 その他30人
141	平成30年1月25日 9:30~12:00	公立	八木幼	保育者の資質向上 保護者支援	相談	職員5人 園児20人 保護者20人
142	平成30年1月29日 9:30~12:30	私立	広島 三育学院幼	特別支援教育	研修	職員7人 園児143人
143	平成30年1月29日 14:15~16:15	公立	安西幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員6人
144	平成30年1月30日 10:00~12:00	公立	緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援 組織マネジメント	相談 研修	職員8人 園児59人 保護者57人 その他1人
145	平成30年1月30日 9:30~10:30	公立	大町幼	保護者支援	相談	その他3人
146	平成30年1月31日 9:30~12:30	公立	石内保	発達や学びの連続性	相談 研修	職員23人 園児20人
147	平成30年2月1日 10:00~12:00	公立	皆実保	教育・保育の内容・支援方法	相談 研修	職員5人 園児1人
148	平成30年2月1日 13:00~15:00	私立	第二みみょう 保	保育者の資質向上	研修	職員4人
149	平成30年2月2日 13:00~16:00	公立	矢賀幼	特別支援教育	研修	職員6人
150	平成30年2月2日 17:30~20:30	公立	わかくさ保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員30人
151	平成30年2月3日 10:30~12:30	私立	青葉幼	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員11人 園児210人
152	平成30年2月6日 10:00~13:00	公立	川内保	その他(保護者対象の講演会)	講演 相談	職員30人 園児140人 保護者60人
153	平成30年2月6日 14:30~16:30	公立	矢賀幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
154	平成30年2月6日 9:00~12:00	公立	上緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 保護者支援	相談 研修	職員2人 保護者9人 その他9人
155	平成30年2月6日 14:00~17:00	公立	落合東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 幼保小連携	研修	職員5人 園児26人 その他3人
156	平成30年2月6日 11:30~16:00	公立	船越幼	教育・保育の内容・支援方法 保護者支援	相談 研修	職員7人 保護者35人 その他6人
157	平成30年2月7日 14:30~16:00	公立	長東幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上	研修	職員6人
158	平成30年2月7日 9:30~11:30	公立	矢賀幼	保護者支援	相談	職員6人 その他15人
159	平成30年2月7日 9:30~12:00	公立	福木幼	教育・保育の内容・支援方法 幼児教育・保育の研修 保護者支援	相談 研修	職員7人 園児43人 保護者15人 その他15人
160	平成30年2月7日 13:00~15:00	私立	洋光幼	幼保小連携	講演	職員2人 保護者20人

161	平成30年2月8日 18:00~20:00	公立	石内保	発達や学びの連続性	相談	職員23人
162	平成30年2月8日 10:00~16:00	私立	第二みみょう 保	保育者の資質向上	研修	職員40人
163	平成30年2月9日 15:00~16:00	公立	川内小学校	幼児教育・保育の研修 幼保小連携	研修	職員15人
164	平成30年2月13日 13:00~15:00	公立	矢野幼	保護者支援	講演	保護者57人
165	平成30年2月16日 9:30~16:30	公立	瀬野幼	保育者の資質向上	研修	職員6人 園児20人 その他2人
166	平成30年2月16日 18:00~20:00	公立	中野保	幼児教育・保育の研修	研修	職員10人
167	平成30年2月21日 10:00~11:30	公立	真亀保	保護者支援	相談	職員15人 園児55人 保護者10人 その他10人
168	平成30年2月21日 15:00~17:00	私立	広島 三育学院幼	特別支援教育	研修	職員8人
169	平成30年2月21日 9:00~12:00	公立	上緑井幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 保護者支援	相談 研修	職員2人 保護者20人 その他20人
170	平成30年2月22日 14:00~17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上	研修	職員6人
171	平成30年2月22日 14:00~16:00	公立	福木幼	幼児教育・保育の研修 組織マネジメント	研修	職員6人 園児43人
172	平成30年2月22日 14:15~16:15	公立	落合幼	特別支援教育	研修	職員6人
173	平成30年2月23日 18:30~20:30	公立	大町保	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 特別支援教育	研修	職員30人
174	平成30年2月23日 10:00~12:00	公立	川内保	幼保小連携	研修	職員2人 保護者28人
175	平成30年2月26日 10:00~15:00	公立	八幡東保	保育者の資質向上	研修	職員21人 園児102人
176	平成30年2月27日 15:00~17:00	私立	広沢学園 祇園幼	幼児教育・保育の研修 特別支援教育	研修	職員6人
177	平成30年2月28日 15:00~17:00	公立	基町幼	保育者の資質向上 その他(研修の成果と課題)	研修	職員2人
178	平成30年3月5日 9:00~12:00	私立	SunSun保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員3人
179	平成30年3月5日 10:00~14:00	私立	親和幼	教育・保育の内容・支援方法 保育者の資質向上 特別支援教育	研修	職員13人 園児169人
180	平成30年3月7日 15:30~17:00	公立	八木幼	その他(子育て支援リーフレット 作成)	研修	園長4人
181	平成30年3月9日 9:00~12:00	私立	洋光幼	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員20人
182	平成30年3月12日 17:00~19:00	私立	こどな保	教育・保育の内容・支援方法	研修	職員2人

イ モデル園への継続派遣

- 市立幼稚園2園をモデル園として指定し、園の課題解決及び研究主題を踏まえた継続的な支援、指導・助言等を行うため、同一の幼児教育アドバイザーが年10回程度の訪問を行った。

<広島市立基町幼稚園>

園児数：58人（3歳児：18人 4歳児：22人 5歳児：18人）

職員数：5人

テーマ：「気持ちを大切にし、友達と遊ぶ子供を育てる」

【派遣実績】

月 日	内 容
5月29日（月）	園内研修会、園の実態・課題の共通認識
6月9日（金）	園内研修会、保育者の資質向上
7月24日（月）	園内研修会、保護者対応
8月28日（月）	園内研修会、幼保小連携
9月15日（金）	園内研修会、保育者の資質向上
10月17日（火）	園内研修会、平和のつどい
10月27日（金）	園内研修会、保育者の資質向上
11月22日（水）	園内研修会、幼保小連携
12月14日（木）	園内研修会、保護者対応
1月22日（月）	園内研修会、幼児教育・保育の研修
2月22日（木）	園内研修会、保育の振り返り

<広島市立落合東幼稚園>

園児数：26人（4歳児：14人 5歳児：12人）

職員数：4人

テーマ：自分がやりたいことを見つけ、それに向かって本気で取り組もうとする子供の育成
～「かかわり」「約束」の視点から～

【派遣実績】

月 日	内 容
5月9日（火）	園内研修会、園の実態・課題の共通認識
6月20日（火）	園内研修会、教育保育の内容支援方法
7月11日（火）	園内研修会、幼児教育・保育の研修
8月18日（金）	合同研修会、幼保小連携
9月12日（火）	合同研修会、幼保小連携
10月16日（月）	合同研修会、幼保小連携
11月14日（火）	園内研修会、幼児の育ち・課題
12月18日（月）	園内研修会、事例研修
1月9日（火）	園内研修会、事例研修
2月6日（火）	園内研修会、保育の振り返り

ウ 幼児教育アドバイザー連絡協議会の開催

- 幼児教育アドバイザーが幼稚園、保育園、認定こども園等を訪問して行った各種相談業務や支援、指導・助言等について情報交換や協議を通して情報共有するため、幼児教育アドバイザー連絡協議会を定期的で開催した。

【開催状況】

回	月 日	連絡協議会
1	4月17日(月)	事業説明等
2	5月25日(木)	情報交換・協議
3	6月15日(木)	情報交換・協議
4	7月20日(木)	情報交換・協議
5	8月17日(木)	情報交換・協議
6	9月21日(木)	情報交換・協議
7	10月19日(木)	情報交換・協議
8	11月16日(木)	新規採用者合同研修会、幼児教育シンポジウムに代替
9	12月21日(木)	情報交換・協議
10	1月18日(木)	情報交換・協議
11	2月15日(木)	情報交換・協議
12	3月15日(木)	年間のまとめ

エ 幼児教育アドバイザースキルアップ研修計画の策定・実施

- 昨年度の幼児教育アドバイザーの派遣実績から、幼児への言葉かけ、環境整備などに係る実践的な助言、特別支援教育、幼保小連携といったテーマでの派遣要請が多かった。



【講師を招いての研修】

- 今年度も同様の傾向はあるものの、保護者の資質向上、保護者支援、発達や学びの連続性、経営マネジメントなど、各園からのニーズは、多様化している。
- また、園から提出される訪問希望申請書を見ると、園は、同一の幼児教育アドバイザーの訪問を望む傾向が見られた。これは、年間を通じ、同一の幼児教育アドバイザーの方が、いわゆるPDCAサイクルを共有しやすく、より効果的な助言を得やすいためである。
- そこで、幼児教育アドバイザーの得意分野、専門分野以外であっても園の多岐にわたるニーズに応じた支援が行えるよう、幼児教育アドバイザーに対するスキルアップ研修会を年6回計画し、幼児教育アドバイザーの能力向上に努めた。

【開催状況】

回	月 日	スキルアップ研修会
1	5月25日(木)	「伝承遊びの実際について」 講師：増田美由紀アドバイザー
2	8月17日(木)	「特別支援教育について」 講師：古澤正憲アドバイザー
3	9月21日(木)	「エピソード研修会～落合東幼稚園より～」 講師：井原貴子アドバイザー
4	12月21日(木)	「幼児教育アドバイザーの資質・能力について」 講師：山崎晃教授（広島文化学園大学）
5	2月15日(木)	「幼児教育アドバイザーに期待すること」 講師：渡邊英則園長（ゆうゆうのもり幼保園）
6	3月15日(木)	「特別支援教育の現状」 講師：竹内吉和アドバイザー

④ 先進地視察及び受託自治体との連携

- 現在、設置に向けた検討や幼児教育・保育の充実に向けた取組が進んでいる自治体等を視察し、各自治体の検討状況等について情報収集を行った。

【視察地】

東京都目黒区教育委員会学校運営課	平成29年11月9日(木)
東京都世田谷区教育委員会幼児教育・保育推進担当課	平成29年11月9日(木)
名古屋学芸大学 子どもケアセンター	平成30年1月25日(木)
名古屋市教育委員会総務部学校環境計画室	平成30年1月26日(金)
神戸市教育委員会総務部学校環境整備課	平成30年1月26日(金)
横浜市立池上小学校	平成30年2月15日(木)

- 受託自治体と電子メールや電話連絡等により、取組に係る情報を共有化し連携を図った。

⑤ 成果の普及

- 昨年度に引き続き広報番組を活用し、幼児教育アドバイザー派遣について広く市民に周知した。
- 本市HPによる情報発信や近隣の地方公共団体に報告書等を配付した。
- 「広島市幼児教育シンポジウム」（平成29年11月30日(木)）を開催し、調査研究の成果を発表した。

-
- ◇ 広島市広報番組 <http://www.hiv.jp/hiroshimaster/170829.html>
 - ◇ 資料17 平成29年度広島市幼児教育シンポジウム関連資料 p.56～p.75
 - ◇ 資料18 広島市における「幼児教育・保育推進体制」について（たたき台） p.76
 - ◇ 資料19 平成29年度 広島市における幼稚園教諭・保育士等の研修体系図 p.77
 - ◇ 参考資料 幼児教育の推進体制構築事業委託要項 他 p.78～p.82

成 果

(1) 「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」の運営

- 1年次に広く意見を聴取し、検討を重ねてきたことから、「幼児教育アドバイザーの役割と姿」が明確化され、関係者間で共通理解が図られたことで、幼児教育アドバイザー派遣の効果等が、幼保、公私を越えて広く認知され、活用の促進に繋がっていった。
- 今年度は、保育者の資質能力の向上、保護者支援、小学校との円滑な接続などの幼児教育アドバイザーの効果的な活用の実践例についても協議を行うことができ、今後の取組に向けた具体的な御意見がいただけた。
- 懇談会に幼児教育アドバイザーや幼児教育の拠点園の園長がオブザーバーとして出席し、事例発表や意見交換を行ったことで、幼児教育アドバイザーの役割の重要性や幼児教育センターの必要性について具体的なレベルでの協議が深まった。

(2) 「幼児教育支援協議会」の運営

- 昨年度末に事業推進についての一定の方向性が固まったことから、今年度は幼児教育支援協議会の会議開催よりもワーキング会議内の主管課担当者間での連携を強化するとともに取組に係る役割分担を明確にした。
- もっとも重点を置いたのは、以下の事柄である。
 - ・ 幼児教育センターの役割と機能について
 - ・ 幼児教育アドバイザー派遣の円滑化と充実化
 - ・ 幼児教育アドバイザーの活用促進に向けた広報活動
 - ・ 関係団体との連携による幼稚園教員・保育教諭・保育士の資質・向上に向けた体系的な研修計画の検討・実施
 - ・ 事務執行体制の強化
- ① 幼児教育センターの役割と機能についての検討
 - 平成28年度の取組に基づく課題を整理し、今年度は各取組を進めてきており、現段階において、本市の幼児教育センターにおいて特に必要と考えられる機能を以下のように整理した。

	平成28年度の 取組に基づく課題	今年度の状況等	特に必要と思われる 幼児教育センター機能
1 幼児教育アドバイザーの活用について	○ 幼児教育アドバイザー派遣に係る連絡調整機能 ・事務手続き ・園と幼児教育アドバイザーをつなぐ役割 ・幼児教育アドバイザー派遣による効果の把握 等	□ 教育委員会が派遣に係る窓口となり、園と幼児教育アドバイザーのマッチング等を行っている。 □ 保育園における幼児教育アドバイザーの活用が増加	○ 所管にかかわらず、幼稚園、保育園、認定こども園等に対し、マッチングや派遣をワンストップで効率的に行う機能
	○ 幼児教育アドバイザーへの研修や情報の共有化、意見交換の充実	□ 幼児教育アドバイザー連絡協議会を月一回開催し、幼児教育アドバイザー間での情報の共有化を図っている。 □ 現場のニーズや幼児教育アドバイザーの課題認識を踏まえ、研修を実施している。	○ 幼児教育・保育の課題を的確に把握し、幼児教育アドバイザーへの研修を企画、立案、実施する機能
	○ 幼児教育アドバイザーの活用促進に向けた取組例等の情報発信	□ 平成28年度に引き続き、今年度も広報番組での情報発信を実施	○ 取組例等について幼稚園、保育園、認定こども園等から幅広く情報を収集し、効果的に発信する機能
	○ 幼児教育アドバイザー活用の効果を測定する方法及び指標の設定	□ 検討中	
2 教諭・保育士等の研修について	○ 研修内容の検討、研修実施体制の充実	□ 9月に「研修に関する連絡協議会」を開催するなど、関係者等からの意見聴取を行っている。 □ 11月と2月に幼稚園教諭・保育士・保育教諭新規採用者合同研修会を実施した。	○ 幼児教育・保育の課題を的確に把握した上で、研修を企画・立案・実施する機能 ○ 研修の検討、実施にあたり関係機関や幼児教育アドバイザーと密に連携する機能
	○ 育てたい(めざす)子どもの姿の共通化 → めざす人間像「心身ともにたくましく思いやりのある人」の実現に向けた幼児の育成について(豊かな感性、他人を思いやる心)	□ 「次期広島市就学前教育・保育プログラム」(仮称)を策定中	○ 「次期広島市就学前教育・保育プログラム」(仮称)等、本市の幼児教育・保育に係る保護者啓発の機能
3 幼・保・小の接続について	○ 実効性のある幼保小接続カリキュラム作成・普及に向けた方法	□ 幼・小連携実践研究校として2小学校区を指定し、接続カリキュラムの実践研究を行っている。 □ 幼保小接続講演会の開催	○ 実践研究の成果等を普及啓発する機能 ○ 幼稚園、保育園、認定こども園等から小学校へ円滑に接続するためのコーディネート機能

② 幼稚園教諭・保育士・保育教諭の資質・能力の向上に向けた体系的な研修策定に向けた検討

ア 平成29年度広島市幼稚園教諭・保育士・保育教諭新規採用者合同研修会の開催

- 私立保育園協会及び私立幼稚園協会の共催のもと、年2回の新規採用者合同研修会を実施することができた。事後の参加者アンケートから、全参加者延べ268人中267人が肯定的に評価するなど有意義な研修会となった。

【参考】参加者アンケート

設問：「この研修会は、明日からの幼児教育及び保育に向けて、参考になりましたか」

	とても参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	ほとんど参考にならなかった	合計
第1回	69人	72人	1人	0人	142人
第2回	76人	50人	0人	0人	126人

- また、参加者アンケートの自由記述の欄には、「幼保で連携、足なみをそろえて保育する必要性」「他の園の人と意見交換ができることは滅多にないので、とてもいい機会」「私立の話聞く機会が普段ないので、公立との違いを知ることができた」といった意見が見られ、公私、幼保の垣根を越えて交流することの重要性が伺えた。
- 「1・2年目の先生（同年代）だからこそ分かりあえる」という声もあり、園外に同じ立場の理解者をもつことにより、新規採用者の心理的負担の軽減につなげることができた。
- 協議題を焦点化したり、写真等の具体的資料を持ち寄ってグループワークをしたりすることにより、活発に意見交流を行うことができ、自分自身の保育を見つめ直すきっかけとすることができた。

イ 幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修についての検討・策定

- モデル園の保護者アンケートで「保育園や小学校と連携して教育・保育をしていると感じる」の項目において、肯定的意見が96%であり、中心的に取り組んだ園においては幼保小連携の成果が表れているものとする。
- 幼保小連携実践研究校としている小学校へ幼児教育アドバイザーを派遣することにより、幼稚園や保育園の実態を共有し、連携のモデルを作ることができた。また、幼稚園、保育園に小学校長経験のある幼児教育アドバイザーを派遣し、小学校の立場から助言をすることにより、小学校教育との滑らかな接続を意識化することができた。



【幼稚園児と小学生の交流】



【幼稚園教諭による小学校での授業】

③ 幼児教育アドバイザーの派遣の円滑化・充実化についての検討

ア 幼児教育アドバイザーの委嘱、要請に基づく派遣

- 公・私立保育園、公・私立幼稚園、私立認定こども園、小学校等、様々な校・園に対して合計182回の派遣を行った。公立の幼稚園、保育園の派遣が多いものの、私立への派遣も増加しつつある。また、今年度新規に要請派遣した園も増加した。関係団体による広報の効果や、幼児教育アドバイザー訪問のよさを実感したことで複数回要請する校・園も見られた。

【参考】公私幼保別月別派遣状況

月	公幼	私幼	公保	私保	私認こ	小	企主型	計
4月	—	—	3	—	—	—	—	3
5月	8	2	5	—	—	—	—	15
6月	9	1	6	—	1	—	—	17
7月	5	1	6	—	1	—	—	13
8月	5	1	4	—	—	—	—	10
9月	9	1	5	—	—	1	—	16
10月	6	—	7	2	1	—	—	16
11月	13	3	4	—	1	—	—	21
12月	4	2	2	—	1	—	1	10
1月	13	2	8	2	—	—	—	25
2月	15	4	9	2	—	1	—	31
3月	1	2	—	1	—	—	1	5
合計	88	19	59	7	5	2	2	182

- 園からの要請は、園での教育・保育を充実させるための研修や、特別な教育的支援を必要とする園児への関わり方に関する研修、保護者への相談・講演といったものが多いことが分かり、幼児教育について園のニーズをつかむことができた。
- それぞれの要望に対して、幼児教育アドバイザーの得意分野を生かした派遣を行ったことで、具体的に実践する内容が明確になったという報告書の記載が多く見られた。
- 幼児教育アドバイザーがファシリテーターの役割をしたことで、協議の柱に沿って研修を進めることができ、研修内容を焦点化・深化することにつながった。
- モデル園において保護者対象に実施したアンケートの「友達と一緒に遊ぶことや関わりが増したと思う」という項目に対して、肯定的意見が100%であることから、教職員の保育内容及び指導方法の充実が伺える。
- 幼児教育アドバイザーが訪問指導することで、保育者が事例をまとめたり説明したりする力が付いた。モデル園に関しては、会を重ねるごとにその能力が高まっていった。
- 「幼児のひろば」や「園庭開放」等、直接保護者の相談に応じる体制ができているため、多くの園からありがたいという意見をいただいた。

【参考】テーマ別派遣状況

派遣テーマ	公幼	私幼	公保	私保	私認こ	小	企主型	計
1 教育・保育の内容・支援方法	37	6	14	2	1	—	1	61
2 保育者の資質向上	45	2	20	3	—	—	—	70
3 特別支援教育	11	11	5	1	2	—	—	30
4 幼児教育・保育の研修	8	1	10	—	—	1	—	20
5 保護者支援	28	1	15	1	2	1	—	48
6 組織マネジメント	4	—	2	1	—	—	1	8
7 幼保小連携	11	3	1	—	—	1	—	16
8 発達や学びの連続性	3	—	5	—	1	1	—	10
9 その他	12	2	3	—	1	—	—	18
合 計	159	26	75	8	7	4	2	281

イ モデル園への継続派遣

- モデル園への継続派遣によって、本務者のみならず臨時職員の発言も活発になった。教職員が日々の保育の振り返りを行うようになり、見通しをもって保育を行うことができるようになった。
- モデル園において、幼児教育アドバイザーの派遣を継続的行ったことで、幼児教育アドバイザーの見取りが焦点化され、課題のある児童の変容や保育者のかかわり方の変容を的確に見取ることにつながった。また、保育者と幼児教育アドバイザーの関係も良好になり、コミュニケーションがとりやすくなった。
- モデル園の継続訪問では、幼児教育アドバイザーから教職員の日々の保育に対する称賛などの直接的な助言だけでなく、園長を通して行う間接的な助言等により、学校経営計画の達成や教職員への支援等組織マネジメントに役立った。

ウ 幼児教育アドバイザー連絡協議会の開催

- 幼児教育アドバイザーの連絡協議会を定期開催したことで、限られた訪問回数の中で、効果的に助言できるようにするための工夫を共有することができた。協議会での意見は幼児教育・保育の充実に資する建設的な意見が多かった。

エ 幼児教育アドバイザースキルアップ研修計画の策定・実施

- 研修会では、単に知識を得るだけでなく、実際の園訪問をイメージあるいはシミュレーションしての実践的な研修がなされた。
- こうしたことから、園から提出された実施報告書によると、あらかじめ設定したテーマはもとより、他のテーマに関係する内容についても、幼児教育アドバイザーによりの確な助言がなされたことが伺え、園から感謝されるケースも見られた。
- 多岐にわたる項目について研修を実施したことにより、一人の幼児教育アドバイザーが、園の多様なニーズに応じた助言をすることができるようになった。

④ 先進地視察及び受託自治体との連携

- 幼児教育センターの設置検討を行っている自治体間で情報共有を行うことができた。その中で、自治体ごとに抱える課題の違いや共通に抱える課題を率直に情報交換できたことで、自治体間の連携を進めやすくなった。（特に政令市間での情報共有は設置に向けた体制作りの参考になった。）
- 本市の取組について、学識経験者から意見聴取することができ、併せてその取組について、改善点も含めた指導・助言をいただいたことで、これまでの取組について充実した振り返りが行えた。

⑤ 成果の普及

幼児教育アドバイザーのニーズの掘り起こしや域内全体の幼児教育・保育の質の向上に寄与するため、域内の全ての園や保護者等に対し、広報番組等を活用することで、「幼児教育アドバイザー派遣について」の周知を行うことができた。また、広く市民も参加対象にした「広島市幼児教育シンポジウム」を開催することで、幼児教育の重要性や、本市の幼児教育・保育に対する考え方について周知することができた。

ア 広報番組の活用について

- 昨年度に引き続き、今年度も広報番組を作成し、広く市民に情報を発信した。

【番組名】「週刊ひろしまスター」(放送日)：平成 29 年 8 月 29 日 (火)

<http://www.htv.jp/hiroshimaster/170829.html>



イ 平成 29 年度 広島市幼児教育シンポジウムの開催について

調査研究 2 年目に当たり、これまでの本市における取組状況や成果等を発表するとともに、参加者等と議論を深める機会として、幼児教育シンポジウムを開催した。



【パネルディスカッション】



【フロアでの協議】

「平成 29 年度 広島市幼児教育シンポジウム」の概要

(1) 開催日時

平成 29 年 11 月 30 日 (木) 10:00～15:45

(2) 会 場

JMS アステールプラザ (中ホール)
 広島市中区加古町 4-17 (082-244-8000)

(3) 参加対象

- ・ 保育園・幼稚園・認定こども園・小学校の関係者
- ・ 行政関係者
- ・ 幼稚園教員等養成課程を置く大学の教員等
- ・ 幼児教育・保育関係者
- ・ 乳幼児の保護者等

(4) 日程

	10:00	10:15	11:00	12:30	14:00	15:30
受付	開	<事業説明等> 「広島市が目指す幼児教育」 [教育委員会]	<ディスカッション> 「幼児教育アドバイザーを活用しよう」 【コーディネーター】 ゆうゆうのもり幼保園長 渡邊 英則 氏	昼食	<講演> 「幼児期の教育の質の向上を目指してー改訂・改定のポイントを理解しようー」 【講師】 名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏	閉会

(5) ディスカッション

- コーディネーター
 認定こども園 ゆうゆうのもり幼保園 園長 渡邊 英則 氏
- 発表園・校

発表園・校	テーマ・発表者
学校法人青葉学園 青葉幼稚園	「教師の意欲を高めるアドバイザーの役割」 ・園長 米川 晃 氏 ・幼児教育アドバイザー 佐々木 尚美 氏
広島市立落合東幼稚園	「幼・保・小連携の充実に向けたアドバイザーの活用」 ・園長 川崎 文子 氏 ・幼児教育アドバイザー 宮崎 礼子 氏
広島市立船越幼稚園	「保護者支援(親育ち支援)を幼児教育アドバイザーと共に」 ー幼児のひろばと教員の自主研修ー ・園長 國貞 祐子 氏 ・幼児教育アドバイザー 米川 恵美子 氏
広島市立川内小学校	「川内学園としての幼・保・小連携」 ・校長 山田 明美 氏 ・幼児教育アドバイザー 井原 貴子 氏

課題

(1) 「幼児教育支援協議会」のあり方について

① 幼児教育センターの役割と機能についての検討

- 「広島市幼児教育支援協議会」は専任の職員を配置せず既存部署の連携等により、幼児教育センターとしての機能を担うこととしたが、各担当の既存業務が増加する中で本事業を推進しているため、業務遂行が滞る傾向にある。
- 協議会という位置付けでは、関係者間での「報告・連絡・相談」業務が緊密に行われにくい環境にある。このため取組に係る「課題の共有化」や「取組の方向性」についての共通認識が図られにくい状況となっている。
- 各部署間での業務分担や関係団体との連絡・調整にかなりの時間を要している。
- 今年度は、園と幼児教育アドバイザー間をコーディネートするための嘱託職員を配置し、幼児教育アドバイザーを派遣する体制をとっているが、正規職員ではないため携われる業務が限られている。また複数の部署で役割を分担せざるを得ないことから、更なる「報告・連絡・相談」が必要となっている。

※ 平成 30 年度は本事業に携わる正規職員を配置し、幼児教育アドバイザー派遣の円滑化とともに効果的な派遣に向けた体制整備を行う。また、幼児教育支援協議会の機能強化とともに幼児教育センター設置に向けた検討を更に進めていく。

② 幼稚園教諭・保育士・保育教諭の資質・能力の向上に向けた体系的な研修策定に向けた検討

ア 平成 29 年度広島市幼稚園教諭・保育士・保育教諭新規採用者合同研修会の開催

- 公私、幼保の合同研修においては、抽象的なテーマ設定では、園児の年齢、預かり時間などが様々であるため、悩みを語るだけで終わってしまい、深まらないことも懸念される。こうしたことから、第 2 回では、保育の際の写真や掲示物、教具など具体的資料を活用してグループワークを行った。今後も実施方法を工夫することで研修の充実を図る必要がある。
- 採用 1・2 年目の教諭、保育士が各園に戻って研修の成果を生かしたり、意欲を維持したりするためには、主任級の中堅教諭や園長の役割が大きく、主任級の中堅教諭や園長対象の研修内容も充実させるとともに、広島市がめざす幼児教育のあり方を明確にする必要がある。
- 私立園の独自性や教育・保育の理念を尊重することも重要であり、引き続き公私間での協議を大切にしながら進める必要がある。

イ 幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修についての検討・策定

- 幼保小連携講演会については、小学校の参加者が少ないことが課題である。幼保小接続カリキュラム作成の意義を含めて小学校への周知を図るとともに、併せて先進的な取組を進めている学校の好事例を広げていく必要がある。

③ 幼児教育アドバイザーの派遣の効率化・充実化について

ア 幼児教育アドバイザーの委嘱、要請に基づく派遣

- 幼児教育アドバイザーの活用については、各関係団体を通じて広報したり、市の広報紙等を活用して広報したりしているが、私立の園長からは、制度を知らなかったという声が聞かれる。引き続き、広報の内容及び方法を工夫し、私立幼稚園・保育園へ幼児教育アドバイザーの活用を促すことが必要である。
- 本事業のまとめに向けて、幼児教育アドバイザー派遣による効果及び園の変容についての成果検証を行う必要がある。評価指標及び検証方法について検討する必要がある。
- 幼児教育アドバイザー派遣を要請する園と事前に十分な打合せを行った上で派遣する方が、派遣効果が高まることが認められるが、すべてのケースで実施することは難しかった。事前打合せができなかった要因を分析し、改善に向けて工夫したい。

イ モデル園による継続派遣

- モデル園への継続派遣で成果が挙げられていることから、事前訪問・事後訪問のような形で複数回の派遣が可能であることを周知していく必要がある。

ウ 幼児教育アドバイザー連絡協議会の開催

- 定期開催が定着してきた連絡協議会を引き続き開催するとともに、より具体的な事例を基に園訪問の在り方について協議を深めたり、各種研修会と連動した幼児教育アドバイザーの動きを検討したりすることにより、幼稚園教諭及び保育士等の資質向上、幼稚園・保育園等の幼児教育・保育の質の向上につながるよう、協議の内容をさらに充実させていく必要がある。

エ 幼児教育アドバイザースキルアップ研修計画の策定・実施

- テーマ別派遣を見てみると、多岐にわたる中、どの園種も共通して「1 教育・保育の内容・支援方法」、「2 保育者の資質向上」に次いで、特別支援教育、保護者支援、幼保小連携が多い。特に、このことに留意しながら、今後は幼児教育アドバイザー育成のための研修内容を設定していく必要がある。
- 幼児教育アドバイザーを派遣する際、別の幼児教育アドバイザーが自身の実地研修として同行するような機会の設定も検討する必要がある。

(2) 成果の普及について

幼児教育アドバイザーの具体的な活用方法や活用の効果等についての情報発信をさらに進めるため、関係機関、団体とより密に連携するとともに、本市HP等を活用し、より具体的な情報を定期的に発信していく必要がある。